

平成26年度 大田区立洗足池学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

<ul style="list-style-type: none"> ◆教育目標 ◆教育活動 ◆特色ある教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◎考える子 ◎思いやる子 ◎元氣な子 ◎やりぬく子 	<p>1学期に1日1時間、2学期に1日1時間、3学期に1日1時間の学校公開。放課後算数クラブ、土曜補習教室、読書タイム、1年生からの英語活動、完全ノーチャイム、30分間の休み時間、地域班活動</p> <p>洗足池小学校、洗足池南小学校、洗足池北小学校、洗足池東小学校、洗足池西小学校、洗足池南小学校、洗足池北小学校、洗足池東小学校、洗足池西小学校</p> <p>国際交流、洗小英語クラブ、(東工大附属洗足池小学校)</p>
---	--	---

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組及び今後の改善策	学校関係者記入欄 コメント
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	児童・生徒と面談等を実施し、学習のつまずきや学習方法について、助言・支援を行う。	4:12月に実施する保護者アンケートで、「学習したことを理解している」項目の肯定的回答の割合が90%以上	4	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を重視し、「思考力」「判断力」「表現力」に重点を置いた指導を行った。また、国際理解教育を推進し、コミュニケーション能力の向上を目指して研究を推進した。児童の発言力は高まってきている。 ・学習カルテの活用、カウンセリングを推進し、つまずきに対して日常的に個別指導をして、基礎・基本の徹底を図った。また、習熟度の高い児童には発展的な課題を与えるようにした。 ・平日の補習教室には、ほぼ全員が参加した。個に応じた課題に対して熱心に学習した。 ・漢字検定においては、事前の指導が役立ち、全員合格の学級もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が外国語に親しみコミュニケーションを図る取組と国際交流事業を同時に行うことにより、教育委員会研究奨励校1年目ながら大きな成果に繋がっている。今後より多くの児童が自ら積極的に参加できるような取組を続けていきたい。 ・習熟度に応じた授業、少人数指導が行われていて、学力向上への取組がうかがえます。 ・数々の実践に成果があらわれており、よいと思います。 ・算数の補習授業などきめ細かい対応はよいと思います。 ・学習指導に加え、国際理解教育を共に向上させなければならぬことは先生方の負担が大変ですが、これからの社会に必要とされる内容で、成果がすぐに出なくても長期的に取り組んでいきたいと思っています。
		算数・数学到達度をチェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	3:同 80%以上			
		算数・数学の補充プリントや発展プリントを配布し家庭学習を支援する。	2:同 70%以上			
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。	1:同 70%未満			
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感、自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	法令などの社会のルールや学校のきまりなどを守らうとする意識を高め道徳教育を実施する。	4:11月に実施する児童の学習・生活アンケートで「毎日学校で生活することが楽しい」項目の肯定的回答の割合が90%以上	4	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導面での様々な取組を行い、ルールや学校のきまりなどを守らうとする意識を高めるようにした。 ・道徳授業地区公開講座では協議会参加数が伸びなかった。内容、形式、広報活動などを工夫する。 ・「いじめ防止基本方針」を策定し、教師の研修を行うとともに、児童の様子をよく観察し、未然防止に努めた。 ・学校生活調査をもとに、担任による全員面接を行った。5年生は、SCの全員面接も行った。課題の見つかった児童については、適宜、ケース会議、特別支援会を開き、早期発見、早期解決を図った。 ・「毎日学校で生活することが楽しい」項目の肯定的評価は6月から11月で上がった児童がいた。当ではまらないという少数児童のケアを続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完全ノーチャイムや洗小江戸しぐさ等、学校の特色ある活動を続けていきたい。豊かな心を育むという課題は学校と家庭・地域の連携が不可欠なので、道徳の授業公開だけでなく、より多くのコミュニケーションを図っていただきたい。 ・学校生活が楽しいという児童の評価が上がっていると、はすばらしいと思います。今後も魅力ある学校づくりに期待します。 ・ルールやきまりを守ること、道徳的な意識を高めること等の取組に成果があり、よいと思います。公開の参加数は年により異なると思います。 ・道徳授業公開講座の参加者数が増えるような取組をお願いします。
		学校と家庭、地域が連携し、道徳授業地区公開講座の活性化を図る。	3:同 80%以上			
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果等をもとに個人面談等を実施する。	2:同 70%以上			
		いじめ・問題行動の未然防止のための取組を実施する。	1:同 70%未満			
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を高めて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	早寝・早起き・朝ごはん月間の取組を実施する。	4:新体力テストのA～Cの児童の割合が70%以上	4	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上を目指して、「一校一取組」を実施した。また、各学級の実態に応じて、「一学級一実践」を進めた。 ・水曜30分休みを利用した「チャレンジタイム」を実施し、児童が全員で体力向上に取り組めるようにした。今後も、内容を工夫して続けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改修の約3か月間、校庭が使えない中、皆さん工夫していただき、児童の体力向上に取り組んでいただいた。各学級に応じた一学級一実践も良いアイデアだと思う。 ・体力に合わせ運動能力の向上も期待します。都会の子どもの体力向上のために、引き続き取り組んでください。 ・学力向上と共に体力向上にこのような方法で力を入れている様子が分かり感心いたしました。是非続けてほしいです。
		体力向上全体計画に基づいた指導を実践する。	3:同 60%以上			
			2:同 50%以上			
			1:同 50%未満			
教育環境向上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポーター体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4:学校公開週間の保護者アンケートで「分かりやすい授業をしている」活動が充実している」の2項目のA評価が60%以上	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「校内研究」「ペアによるOJT研修」により、教員同士が切磋琢磨し、授業力向上に努めている。 ・ICT機器については、教員によって、活用の多少の差があるので、活用のための研修を行う。 ・夏に「授業改善年間ブック」を作り、学習生活アンケート、学力調査の結果診断、学期ごとの学習成果などを各シートにまとめ、年間を通じて、授業改善プランの検証、改善ができるようにした。来年度は、「授業改善年間ブック」を改善し、活用を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間と人員の中、個別指導や補習に積極的に取り組んでいただいている。小学校は児童の成長において重要な時期であり、今後も講師、支援員の協力を得て学習環境の向上に取り組んでいただけたらと思います。 ・ペアのOJTや校内研究等、教員の指導力向上を大いに図られていると思います。 ・機器導入の経費を有効に活用するためより一層ICT機器の活用をお願いします。
		各種研究発表会や授業改善セミナー等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	3:同 55%以上			
		ICT機器を活用した授業を実施する。	2:同 50%以上			
		特別支援教育を充実させ、校内委員会等を実施する。	1:同 50%未満			
地域と共に歩む学校づくり	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくります。	教育目標、学校経営計画、学校経営方針をホームページに公開する。	4:学校公開における保護者の参観率が世帯数換算で70%以上	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの情報とともに、児童の学校生活の様子をできるだけHPIに公開するようになった。 ・地域支援本部(スクールサポート洗足池)の活動は、保護者とともに地域力も活かす方法を考え、さらに充実させていく。 ・研究授業、国際交流、自主研究発表会、避難訓練などを公開し、学校の取組を保護者や地域の方に理解していただくようにした。さらに、多くの方に参観していただくよう、広報を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の経営計画方針の公開や学校の様子を積極的に公開する取組は非常に評価できる。今後も学校の取組を保護者や地域の方に理解してもらえよう努力を続けていきたい。 ・子どもたちがスムーズに就学し、安心して学校生活を送れるためにも、今後も交流、連携を大いに図っていききたいと思います。 ・保護者の協力は小規模校では不可欠です。協力があるということは、学校経営が良いからこそだと思います。 ・他校に比べ児童数が少ないことを理由に良い方向にもっていけるように地域の一人として応援したいと思っています。避難訓練等に参加し、児童、保護者とふれあい、学校行事に関心を深めていけたらと思います。
		情報を積極的に公開するとともに、学校ホームページの充実を図る。	3:同 60%以上			
		地域連絡協議会において自己評価に対する評価を行い、その結果をホームページで公開する。	2:同 50%以上			
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施した。	1:同 50%未満			